

ロシア為替週報

2021年11月8日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

＜過去1週間の動き＞

(10月30日～11月5日)

USD/RUB: 70.725～72.255

過去1週間のロシア・ルーブル相場は、続落が先行したものの、週後半にかけては堅調気味の横ばい。4日、5日は元々ロシア休日だった上、モスクワなどでは、コロナ禍蔓延抑制のため1日～3日も「非営業日」とされたことで、市場の動意は乏しかった。並行してルーブル建ロシア国債(OFZ)も動意薄の膠着、原油価格は相応の上下動を見せたものの、ルーブルとの連動はほとんど読み取れなかった。金融市場全般を見渡せば、米連銀公開市場委員会(3日)、英中銀金融政策委員会(4日)、OPEC+会合(同)、米10月雇用統計(5日)など。この間、重要イベントが目白押しだったことも、ルーブルの様子見気分を強めたのではないかと見られる。週明け直後のルーブル続落には、前後したウクライナ東部における軍事的緊張の高まりが嫌気された可能性も考えられただろう。同国部ドンバス地方の(ロシアの支援を受けた)独立派勢力が、ウクライナ政府軍によるドローン攻撃を受け、ロシア軍の一部がウクライナ東部に集結したと報じられた。米連銀による資産購入規模の縮小(テーパリング)開始は事前の予想通り。英中銀による基準金利据え置きは、英短期金利市場の織り込みを裏切る結果になり(エコノミスト予想は、据え置き予想と+15b.p.予想でほぼ半々に割れていたが)ポンド全面安だけでなく、米長期金利低下などまで引き起こした。米10月雇用統計は、非農業部門雇用者数の増加が、前月分の上修正なども併せ、予想を上振れる内容になったものの、前後して米長期金利の低下が止まらず、ルーブルを含む新興市場通貨に対し、ドルは軟調に振れた。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
11/3	16:00	CPI(前年比)	10月	+8.13%	+8.00%	+7.42%r

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(11月6日～11月12日)

USD/RUB: 70.75～72.25

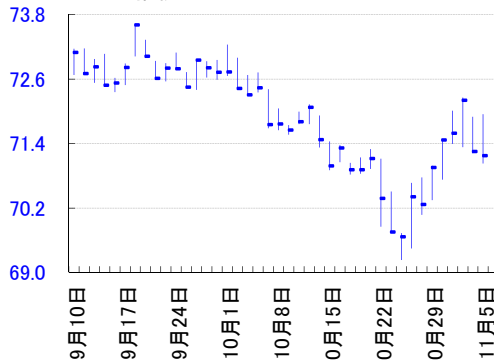
向こう1週間のロシア・ルーブル相場は、軟調を予想。世界各国の金融政策動向は、上述の通り英中銀が利上げを見送った一方、ポーランド国立銀(3日)、チェコ国立銀(4日)が相次いで予想を上回る大幅利上げに踏み切るなど、二極化が進んでいる。ロシアは後者のグループに属するはずで、3日発表されたロシア10月CPIの上振れは、その方向(大幅追加利上げ)に拍車を掛ける数字になったと言えるだろう。問題はしかし、①ロシア中銀利上げ期待は、市場予想を上回る規模の利上げを織り込み難い水準まで飽和してしまっているように見える。②同利上げはOFZの続落を加速させかねないなどといった目線で、単純なルーブル押し上げ効果は乏しくなっているように感じられる。一方で、上述、米長期金利の低下が、着実にルーブルを押し上げたように、米口の長期金利差は、引き続きルーブル相場動向にとっては重要な要因のひとつであるように思われる。もうひとつ、ルーブル軟調を見込む要因は、ロシア休前日で市場は関心を払わなかったようだが、財務省による11月期のルーブル売却規模が、5,182億ルーブルと2018年11月来の高水準になると発表されたこと(3日)。原油価格そのものが当時の水準に近付いているのだから、当然と言えば当然だが、これは、単純に、ルーブル上値を押さえる要因になるはず。ちなみに、往時のルーブルは、原油価格急騰を他所に上値の重い推移を続けた一方、その後(18年11～12月)原油価格が急落したにもかかわらず、(原油急落に連れ安することなく)相変わらずの軟調推移にとどまった。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

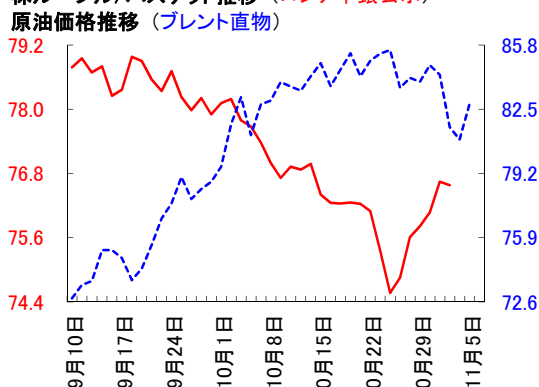
月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
11/8-11/10		国民福祉基金(USD)	10月			191.0bn
11/9	13:00	外貨準備高(USD)	10月		623.0bn	614.1bn
11/10	16:00	GBP(前年比)	Q3 A		+4.4%	+10.5%
11/11	13:00	貿易収支(USD)	9月		+18.5bn	+17.1bn
11/12-11/14		財政収支(RUB/年初来)	10月		+1800.0bn	+1443.7bn

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

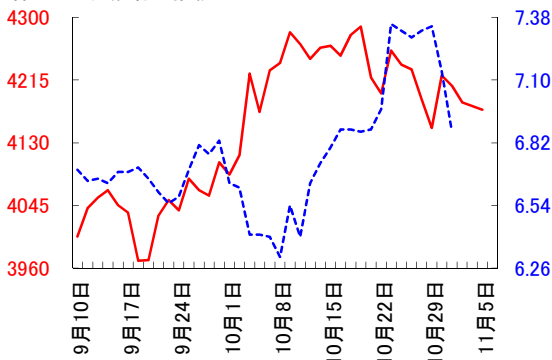
USD/RUBの推移 (日足/ロンドン 7:00～17:00)



株・ルーブル/バスケット推移 (ロシア中銀公示)



株式/金利相場の推移 (MOEX 指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1週間物入札金利		7.50%
成長率(GDP/前年比)	Q2	+10.5%
失業率	9月	4.3%
消費者物価(前年比)	10月	+8.13%
小売売上高(前年比)	9月	+5.6%
鉱工業生産(前年比)	9月	+6.8%
貿易収支(USD)	8月	+17.1bn

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。